

第2回 観光2次交通のオープンデータに係る勉強会

平成30年度 観光2次交通機能強化事業 の取組みについて

2018年12月20日

1. 事業の背景

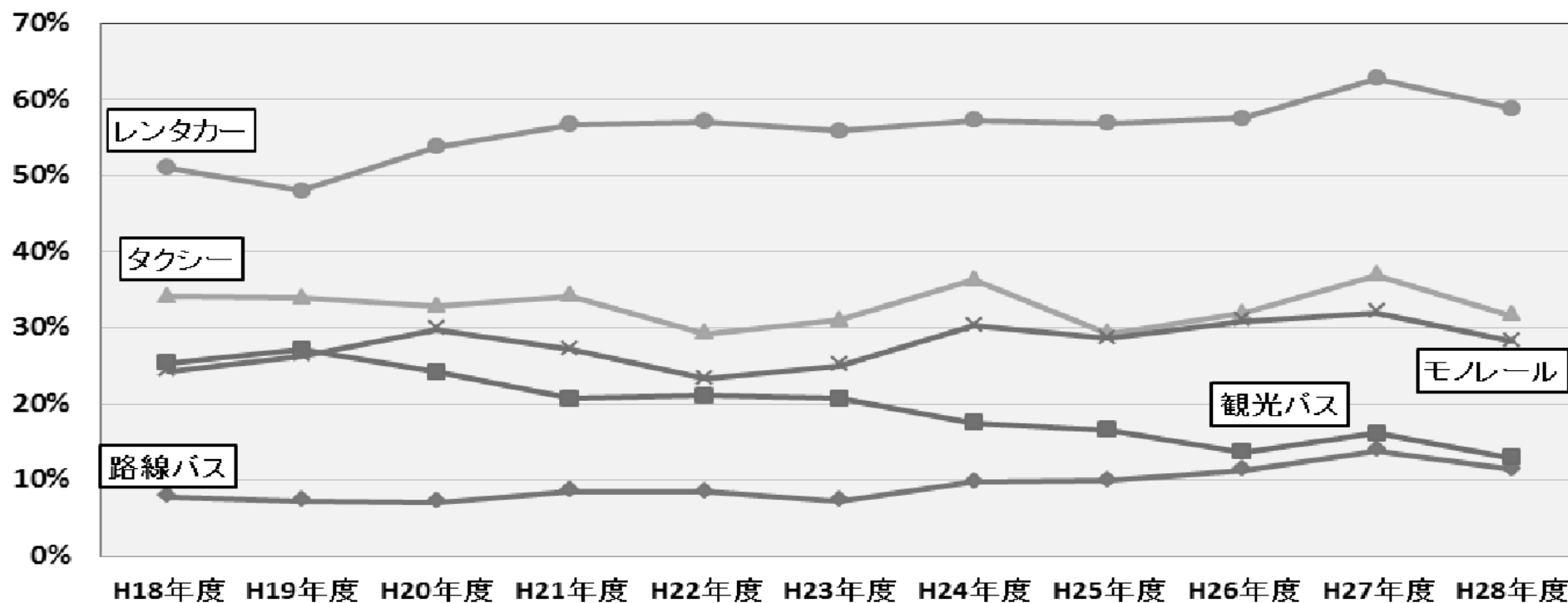
◆平成29年度の観光客数は957万9千人と過去最高。
うち外国人観光客数についても269万2千人と過去最高。
→平成33年度の1,200万人に向け、観光推進ロードマップを推進

◆観光客の増加に伴い、那覇空港の利用者数も増加しており、路線バス、タクシー、レンタカーなど2次交通の需要も増加。



平成28年8月撮影

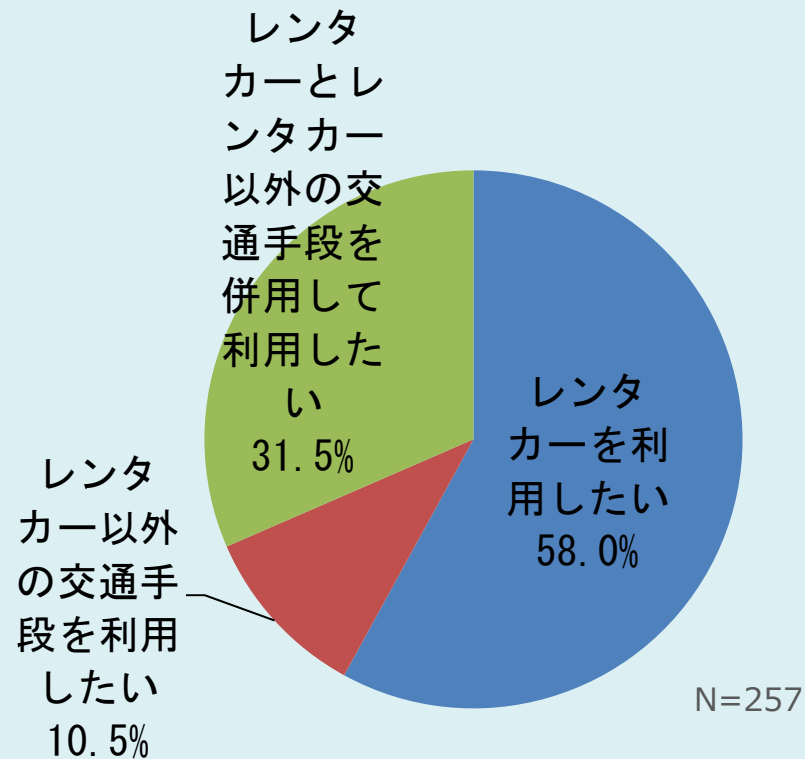
▼沖縄滞在中に観光客が利用した交通手段



(観光統計実態調査：沖縄県文化観光スポーツ部)

観光客（特に外国人観光客）は、公共交通を利用したい （運転をしたくない）という声もあるが…

▼外国人レンタカー利用者の公共交通の利用意向（沖縄県調査結果）



（出典：平成29年度沖縄県調査結果）

県内の公共交通の情報（特にバス）はインターネットでの検索が難しい

※バス情報をインターネットの経路検索サービス等で得ていると答えた人の割合は若い世代では70%以上、全世代でも40%以上と他の検索方法に比べ最多



「那覇バスターミナル、〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1丁目20」から「斎場御嶽、〒901-1511 沖縄県南城市知念字久手堅」までの乗換案内を計算できませんでした

路線バスでの検索結果は表示されない



目的地側の交通アクセス情報



目的地側の交通アクセス情報



交通アクセス

世界文化遺産 斎場御嶽

〒901-1511 沖縄県南城市知念字久手堅地内

【チケット販売所】南城市地域物産館 沖縄県南城市知念字久手堅539

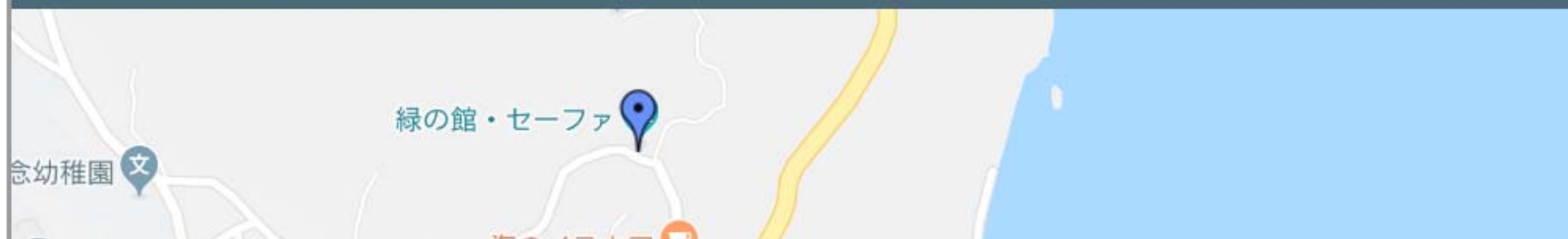
【電話番号】098-949-1899

【駐車場】無料駐車場約150台。

※無料駐車場は南城市地域物産館と知念岬公園にあります。

※駐車場から斎場御嶽迄は徒歩7分～10分程度

南城市観光協会 ★



2. 事業の目的

■公共交通機関であるバス、モノレール、本島と離島を結ぶ足である船舶、観光客がもっとも利用するレンタカー、観光施設等の情報を、Google等の大手検索サイトや、民間のコンテンツ・サービス等での活用を促進するよう県が統一した整備基準にデータを加工・提供しオープンデータ化を図る。

■沖縄に来る前に観光地から観光地への移動が事前検索できることで観光2次交通の満足度向上及び観光2次交通の分散化による交通渋滞の緩和に繋げることを目的とする。

3. 事業のスキーム

沖縄県

平成30・31年度の委託・補助を予定。
平成32年以降は補助事業者を中心とした継続・自走化を想定。

委託事業 ((株)オリエンタルコンサルタンツ)

- 検討委員会の運営
- 沖縄県版の観光2次交通データ仕様の検討
- 公共交通事業者等との調整
(データ使用の許諾・入手等)
- ▶ 現状約8割の交通事業者と調整済
- 事業者の理解促進のための勉強会の開催
- 公共交通機関を活用したモデルコース(離島を含む8コース)検討
- オープンデータの拡散方法の検討 など

補助事業 ((一社)沖縄オープンラボトリ)

委員会で検討した仕様および採択された申請内容・実施計画に基づき、委託事業者と連携し、以下の内容等を実施

- 沖縄県版の統一基準に基づく観光2次交通オープンデータ整備
- ▶ 宮古・八重山のデータを先行して実施
- 補助事業終了後の継続、自走に向けた県内の連携体制等の構築
- オープンデータを活用したサービス等の検討・開発 など

成果イメージ

- ・観光2次交通情報等の沖縄版のオープンデータ
- ・大手検索サイト(Google、Yahoo!等)への拡散や民間による活用の促進
- ・継続・自走化に向けた検討、形骸化しないスキーム構築